

【日時】2024年4月13日(土) 13:00~15:30

【会場】盛岡市総合福祉センター 講習室

Web開催(ZOOMミーティングでのオンライン参加)

【出席者】(敬称略)(oは、オンライン参加を示す。)

代表理事：坂口 繁治(全県)

理事：北向 細子(盛岡) 佐藤 雅子(全県) 西尾 卓樹(全県)  
熊谷 雅順(全県) 白畑 勇(全県) 小笠原 隆(全県o)  
斉藤 穰(全県) 松戸 智美(全県o) 阿部 明典(全県o)  
栗津 優(全県o) 寺崎 拓也(全県o) 千田 修(全県o)  
佐々木 美幸(全県o) 高橋 洋子(全県o) 和蛇田 達也(二戸)  
泉 伸(久慈) 関澤 裕子(盛岡o) 菅野 充(中部o)  
昆野 宏彦(胆江o) 小原 良子(両磐o) 高屋敷 大助(沿岸o)  
千田 富士夫(気仙)

監事：阿部 鮎美(o)

相談役：高橋 勝(o)

(計：25名)

【欠席者】(敬称略)

理事：菊池 一希(全県) 代理 高橋 正之(全県)

監事：菊池 寛

相談役：佐々木裕彦

(計：4名)

## 議事

### 1. 開会

### 2. 挨拶(坂口会長)

### 3. 理事会成立報告

理事23名の出席。定款第33条の理事過半数を上回り、本理事会の成立を確認した。

### 4. 議長選出

定款第30条に基づき坂口会長が議長を務めることについて、理事の承認を得た。

### 5. 報告事項

#### (1) 定款第21条3項による職務執行状況

ア 定款第21条3項による職務執行状況 事務局運営の進捗

4/9 丹代税理士指導報告(伊藤、熊谷)

- ・「報酬助成」の取扱い
- ・事務局員の退職共済金：福利厚生費→資産計上へ変更。
- ・30周年記念行事に係る寄付金の仕訳変更(一般寄付金扱いとして年度内に処理)
- ・理事会の継続欠席望ましくない。やむを得ず欠席の場合には代理出席者を立てること。

イ 各理事(委員会・ブロック)からの情報提供

○委託事業の見積書等：P5~8参照(坂口)

○ぱあとなあ業務監査：P9~12(白畑)

- ・法人後見の検討、HPの充実、報酬助成の運用状況等
- ・2月報告 インシデントレポートに上がったものすべて報告(3件)→共有の必要性
- ・苦情対応(1件)について報告
- ・会員のサポート、研修の実施状況等  
→会員増に伴うブロックの運営体制強化(研修委員の増員等)が必要。

○SSW：P13~16(坂口)

- ・出張相談、電話相談等SSWの担い手の不足あり。養成研修受講検討いただきたい。

ウ その他

- (2) 2024 ソーシャルワーク三団体の開催について（寺崎、佐藤）  
2024 年度 実践研究委員会では対応。3/25 三団体の打合せ実施。  
開催：7/20（土）テーマ：LGBTQ も含めた多様性の尊重 講師：加藤麻衣氏  
主担当：精神保健福祉士会 会計：社会福祉士会

### (3) その他

## 6. 協議事項

### (1) 2024 年度定時総会の開催案内について:P17～（熊谷）

日時：6月18日（土）13時～ 会場：ふれあいランド岩手

合同研修講師：岩手県立大学中谷学部長

#### 【質疑・意見等】

- ・ 会員現況届は変更がない場合のみで良いか。（関澤）→変更がない場合のみ提出で統一。
- ・ 終了後の懇親会実施の場合には、参加できるように調整する。（千田、和蛇田）

### (2) 議長の選出について（熊谷）

2021 年度盛岡ブロック、2022 年度中部ブロック、2023 年度胆江ブロックから議長選出。

2024 年度は両磐ブロックから推薦をお願いしたい。

→当日、虐待対応委員会開催あり、菅原大輔氏を推薦したい（千田）

### (3) 第三期中期計画の推進について（別冊 P73）

- ・ 更生支援計画、引き続き課題（北向）
- ・ 認定社会福祉士 18→13 名へ減少（メリットが不明瞭。更新者の減少）。
- ・ 実習指導者講習：隔年開催にて今年度は実施なし
- ・ 東北・北海道ブロック研修大会開催（山形）日程確定
- ・ SV 委員会立ち上げ→高橋勝相談役、熊谷事務局長で協議
- ・ 自治体社会福祉士の会→佐久山氏を代表として立ち上げの予定（千田）
- ・ プラチナの会→WT 設置に向けて準備する（北向）
- ・ 就業規則等→西尾氏協力 OK
- ・ ブロック間合同研修→各ブロック開催の研修について、他ブロックへも情報提供する。
- ・ 事務所の検討→盛岡市内、ふれあいランドから近い場所での事務所確保を検討。

#### 《追加・修正事項》

- ・ 新会員オリエンテーション追加
- ・ ぱあとなあ：法人後見の検討（2024～）追加（白畑）
- ・ 自殺予防 SW：準備→実施へ変更（高橋洋）

### (4) その他

## 7. 議決（承認）事項

### (1) 2023 年度事業報告と決算について

#### 《事業報告》

##### 【総括・総務委員会】（熊谷）

30 周年記念行事は 120 名を越える参加。ぱあとなあ人材育成研修 23 名修了。

SV バイザー13 名バイジー18 名。認定社会福祉士東北では最多。

新会員オリエンテーション初開催…等

##### 【障がい研修委員会】（小笠原）

例年通り実施。受講者からの評価は 8～9 割が良好。2024 年度研修は 4/16 県と企画会議予定。

##### 【地域共生社会委員会】（齊藤）

2023 年度委員会 3 回開催（研修の企画等＋県地域福祉支援計画への意見等）。

生活困窮小委員会、更生保護小委員会、地域共生小委員会がそれぞれ研修等を実施。

【子ども家庭学校委員会】(坂口)

いじめの対応の標準化(2023年度重大事案について、第三者委員の依頼4件あり)、SSW実践に対する標準化(砂田氏:県教委のアドバイザーとして配置)、要対協研修、県立大CSW等の委託事業の対応、SSWの雇用条件等が課題

【地域包括支援委員会】(松戸)

2023年度、情報交換会を数年ぶりに開催。

実践力養成研修は委員会の内部研修として2月に開催。2024年度は認証研修として実施。

【障がい委員会】(阿部)

「障がい者虐待の認識と実態調査」の分析→2/3にフォーラム開催。

フォーラムに向けて実行委員会を2回開催した。

【実習指導者委員会】(栗津)

医療SWと共催でフォローアップ研修会を2回開催。

実習プログラムの共有。実習生自身からの報告もあったことが好評だった。

【実践研究委員会】(寺崎)

2/23実践研究発表会(ハイブリッド)開催。開催方法についての課題等があった。

2024年度から三団体研修への協力も行う。

【虐待対応委員会】(千田)

相談件数が1.5倍に増加。

【ユース委員会】(代理:菊地)欠席 説明:坂口会長

任期途中の委員長交代あり。10/29東北北海道研修大会へ委員が1名出席。

事務局と協力し模擬試験監督等の対応等を行った。

【生涯研修センター】(熊谷)

4年ぶりに対面研修を開催。基礎研修Ⅰ38名、基礎研修Ⅱ17名、基礎研修Ⅲ17名修了。

国家試験合格率が58%と高かったため、会員増と受講者増を見込む。

レポート論文研修7月、独立型フリーランス研修を2月に開催。SVマッチング18名。

【ばあとなあ】(白畑)

家庭裁判所からの推薦依頼が年間100件を超え、受任件数も30件増加。

名簿登録23名あり体制強化ができる一方、現受任者の退任等への対応が課題となっている。

→法人後見の検討を運営委員会で進めている。

スキルアップ研修は基本的にハイブリッドで開催。

三士会とは定期的に協議をしており、家庭裁判所の同席も得られるようになった。

12月・3月三士会と家庭裁判所の協議を開催できた。

【災害担当】(西尾)

2023年度はワーキングチームを立ち上げた。2024年度は見直しを行う。

DWATとの関係性も踏まえて県士会としてどのように活動するかが課題。

【自殺予防担当】(佐々木、高橋洋)

2023年度の開催において事例検討の希望が多かった。2024年度開催内容に反映させたい。

《ブロック》

【二戸ブロック】(和蛇田)

2023年度集合研修を開催。加入促進が課題。研修会を3回開催。

【久慈ブロック】(泉)

研修会を集合形式とし、二戸ブロックとの合同研修も開催。高校や保護司会との連携あり。

コロナ前の状況に戻りつつある。

【盛岡ブロック】(関澤)

県士会活動への協力とブロック活動の仕訳の必要性。改めて独自事業を検討した。

2024年度は総会後の研修会(講師:高橋勝相談役)、事例検討会を最低2回は開催する。

QRコードを使った住所変更等の届け出を検討し、会員への周知方法を工夫していきたい。

【中部ブロック】(菅野)

2023年度は照井孫久氏の助言により、社会福祉士の役割を考えるグループワークを実施。

併せて他団体との共催事業を実施。権利擁護に関する依頼が多い。

**【胆江ブロック】**（昆野）

2023年度は気仙・両磐ブロックと合同で倫理綱領研修会を実施。若い会員の企画を意識した。メールアドレス登録者90%で、事務負担の軽減、ペーパーレス等の効果があった。

**【両磐ブロック】**（小原）

新会員を交えた交流会を開催。ブロック合同の倫理綱領研修会が開催できたことが良かった。メールアドレスの整備が進んでいないことが課題（QRコードを試したが効果が薄い）。

**【沿岸ブロック】**（高屋敷）

オンライン研修に慣れ、情報共有も改善してきた。新規会員の加入を推進したい。

**【気仙ブロック】**（千田）

事例検討会や中核機関の設置に伴う動き、ブロック合同研修会の開催等、コロナ禍と比較すると活動が進んだ。会員数が停滞していることが課題。

→各ブロック単位での入会者のフォローや会員管理を進め、県士会事務局へ情報提供いただけるような仕組みとしたい（坂口）

**《決算》**

P51～59及び特別会計について坂口会長より説明。

**《監査報告》**

阿部鮎美監事：適正に執行されていることを確認した。

→2023年度事業報告及び決算報告について、理事の承認を得た。

→前回理事会提出資料から修正したブロックの2024年度事業計画について、理事の承認を得た。

**(2) 委員会活動費の交付について**（西尾）

各委員会の昨年度の決算を踏まえてP25により838,400円を交付する。

（予算と交付額の差額は参加費収入）

→委員会活動費の交付について、異議なく承認された。

**(3) ブロック活動費の交付について**（西尾）

各ブロックの交付算出基準額、会員数を踏まえてP26により1,168,000円を交付する。

→ブロック活動費の交付について、意義なく承認された。

**(4) 会員の入会退会の承認について**（北向）

転入者2名、入会7名、退会16名

→会員の入退会について、上記のとおり意義なく承認された。

**(5) 会員資格喪失について**（定款第10条）

森本正子（2022 - 2023年度の参加費未納）の会員資格喪失について、意義なく承認された。

※過年度会費請求は継続。

**(会員資格の喪失)**

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 第7条の支払い義務を継続して2年以上履行しなかったとき。

(2) 当該会員が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。

(3) 社会福祉士法及び介護福祉士法第32条又は33条の規定により社会福祉士としての登録を取りされ又は削除されたとき。

(4) 総正会員が同意したとき。

**(6) その他**

## 8. その他

- ・久慈ブロック会員の死亡あり、ブロックで弔電を打った。  
現職会員の死亡の際に、慶弔規程を根拠として対応できると良い。（佐々木美）  
→他県の規程等を参考に検討したい。（坂口）
- ・ブロック・委員会資料の修正があれば、4/16（火）17時までに提出のこと。  
併せて各委員会の副委員長の報告もお願いしたい。（山口）
- ・インボイス制度導入に伴い、源泉徴収に変更あり。おって各ブロックへ情報提供する。（伊藤）

## 9. 閉会

<今後の職務執行予定>

- ・ 5月14日（火） 5月正副会長会議
- ・ 5月10日（金） 東北・北海道ブロック代表者打合せ(13:30～Web開催)
- ・ 5月12日（日） 日本社士会生涯研修委員会
- ・ 6月 8日（土） 2024 定時総会・合同研修会
- ・ 6月15日（土） 日本社士会定時総会
- ・ 6月22日（土）～23(日) 日本社士学会・栃木大会
- ・ 7月13日（土） 第2回理事会

2024年4月13日

一般社団法人岩手県社会福祉士会 2024年度第1回理事会議事録は、当日の議事内容に相違ないことを認め、記名押印する。

議 長 坂口 繁治 印 監 事 阿部 鮎美 印